

教科(科目)	国語（現代の国語）	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準現代の国語』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』・大修館書店『明鏡国語辞典 第三版』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進路希望が多岐にわたること、成人年齢の引き下げにより在学中に成人になることを考慮して、

- ①基本的な言語活動の習得を重視し、常用漢字の習得、適切な言葉の使い方の習得を目指す。
- ②積極的に他者とコミュニケーションを図る態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（音読、漢字学習など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・定期考査、ワークシートの分析 ・授業の取り組み（発表や討論など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・ワークシートの分析 ・授業の取り組み（発言や討論など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画（その1）

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	世界を広げる	5「C 読むこと」	「なぜ本を読むのか」	・常用漢字を的確に読み書きし、文中の語句の意味を理解している。 ・読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深めている。 ・読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめることができる。 ・「図書館オリエンテーション」を通して、図書室の適切な使い方を理解し、学習活動に生かそうとし、読書に親しむ態度を養おうとしている。	5	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 発表のようす 定期考査、小テスト
5	話して伝える	4「A 話すこと・聞くこと」	「話し方の工夫」	・相手により伝わりやすい表現方法を理解し、表現に生かしている。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に従って積極的に話し合うことができる。	4	授業の取り組み 発表・話し合いのようす ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
5 6	人間と文化	14「C 読むこと」	「水の東西」	・常用漢字を的確に読み書きし、文中の語句の意味を理解している。 ・東西の文化の対比関係を用いながら、日本文化の特徴について論じる叙述の方法を理解している。 ・情報を対比させながら論理が展開する評論を読み、学習課題に従って論理の展開を理解している。	14	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
7	話して伝える	5「A 話すこと・聞くこと」	「スピーチで自分を伝える」	・「私大切にしているもの」について、自分の考えを相手にわかりやすく話して伝えている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して適正に評価しようとしている。	5	授業の取り組み 発表・聞き取りのようす ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト

学習計画（その2）

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
8 9	社会と人間	9「B 書く こと」	「人はなぜ 仕事をする のか」	・常用漢字を的確に読み書きし、文中の語句の 意味を理解している。 ・仕事の本質について理解し、職業観を深めて いる。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示 し方や説明のしかたを工夫している。	9 1	授業の取り組み ワークシートの取り 組み、提出 発表のようす 定期考査、小テスト
9 10	生活の中の 表現	10「A 話す こと・聞く こと」	「法律の改 正に関わる 文章を読み 比べる」	・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報 を読み取り、複数の文章を関連づけながら 理解し、まとめている。 ・法律文を読み比べてまとめたことを、発表し て意見を共有することができる。	10	授業の取り組み 発表のようす ワークシートの取り 組み、提出 定期考査、小テスト
11 12	書いて伝える	9「B 書く こと」	「書き方の 基礎レッス ン」 「実用的な 手紙文の書 き方」	・常用漢字を的確に読み書きしている。 ・表記や表現の基本を理解し、適切な文章を書 いている。 ・手紙文の形式に則って手紙を書いている。 ・相手に情報を適切に伝える手紙文を書いて いる。	9 1	授業の取り組み ワークシートの取り 組み、提出 定期考査、小テスト
1 2 3	現代と社会	9「B 書く こと」	「黄色い花 束」	・常用漢字を的確に読み書きし、文中の語句の 意味を理解している。 ・文中の情報を相互に関連づけて、内容を理解 している。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫 して自分の考えを書いている。	9 1	授業の取り組み ワークシートの取り 組み、提出 発表のようす 定期考査、小テスト

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計 ← 国語の各科目では記載すること。

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこ と」 20 時間	B 「書くこと」 30 時間	C 「読むこと」 20 時間
-----------------	-------------------------	-------------------	-------------------

7 課題・提出物等

- ・授業で活用したワークシートは必ず提出してもらい、その内容等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価します。
- ・毎時間、尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』を使って漢字を学習します。小テストを実施して、漢字の習得状況を評価します。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、皆さんが社会生活を送るうえで必要となる国語の能力を育成する科目です。特に日常生活で必要となる常用漢字の読み書きや適切な表現のしかたなどの基礎的な事柄はしっかりと身につけましょう。授業ではワークシートを使って学習を進めますが、発問に対する意見や話し合い、発表などを通して考えたことや理解が深められた事柄などもワークシートにまとめます。積極的に授業に臨み、毎時間を自己の成長につなげられる有意義な時間にしてください。